



大 監 発 第 2 6 号

令 和 5 年 1 月 2 5 日

東大和市長 尾崎 保夫 様

東大和市監査委員 三ツ寺 俊行

東大和市監査委員 二宮 由子

令和4年度財政援助団体等監査結果の報告について

地方自治法第199条第7項の規定に基づき実施した財政援助団体等監査の結果について、同条第9項の規定により、別紙のとおり報告を提出します。

なお、この監査結果報告に基づき、又はこの監査結果報告を参考として措置を講じたときは、同条第14項の規定により通知願います。

令和4年度財政援助団体等監査結果報告書

- 1 監査の種類 地方自治法第199条第7項の規定に基づく監査
- 2 監査の対象 財政援助団体 公益社団法人 東大和市シルバー人材センター
所管部署 地域福祉部 福祉推進課
- 3 監査の範囲 令和3年度及び4年度に交付した補助金等に係る出納及び事務の執行状況
- 4 監査の期間 令和4年10月25日（火）から令和5年1月24日（火）まで
- 5 監査の方法 補助金が補助目的に従って使用され、十分な効果を上げているか、関係書類を試査、精査するとともに、団体責任者等へ説明聴取を実施する。
また、補助金交付に関する事務について、交付手続き等が適正に行われているか、関係書類を試査、精査するとともに、関係職員へ説明聴取を実施する。

6 監査の着眼点

所管部署

- (1) 補助金等の決定は法令等に適合しているか。
- (2) 補助金等の交付目的及び補助等対象事業の内容は明確か。
- (3) 補助金等の額の算定、交付方法、時期、手続等は適正か。
- (4) 補助金等の効果及び条件の履行の確認は、実績報告書等によりなされているか。
- (5) 財政援助団体等への指導監督は適切に行われているか。

財政援助団体等

- (1) 事業計画書、予算書及び決算諸表と所管部署へ提出した補助金等の交付申請書、実績報告書は符号するか。
- (2) 補助金等交付申請書の提出及び補助金等の請求、受領は適時に行われているか。
- (3) 事業は、計画及び交付条件に従って実施され、十分効果が上げられているか。
- (4) 補助金等が補助等対象事業以外に流用されていないか。
- (5) 出納関係帳票の整備、記帳は適切及び適正か。また、領収書等の証拠書類の整備、保存は適切か。
- (6) 補助金等に係る収支の会計経理は適正か。
- (7) 精算報告は適正に行われているか。
- (8) 精算に伴う返還金の返還時期は適正か。

7 財政援助団体等の概要

(1) 役員及び構成員の内訳

公益社団法人 東大和市シルバー人材センター（以下、「シルバー人材センター」という。）

【役員】

会長1名、副会長1名、常務理事1名、理事8名、監事2名

【職員数】

正規職員 5 名、嘱託職員 5 名（週 4 日 4 名、週 2 日 1 名）、臨時職員 4 名
（補助金の対象者：正規職員 5 名、嘱託職員の週 4 日 1 名）

(2) 事業概要

【目的】

シルバー人材センターは、社会参加の意欲ある健康な高齢者に対し、地域社会と連携を保ちながら、その希望、知識及び経験に応じた就業並びに社会奉仕等の活動機会を確保し、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。

【事業】

- ① 臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のための就業の機会確保及び提供
- ② 高齢者に対し、就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習の実施
- ③ 社会奉仕活動等を通じて、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業
- ④ 前条の目的を達成するための調査研究、相談及び事業の企画運営
- ⑤ その他センターの目的を達成するために必要な事業

8 補助金等の概要

福祉推進課所管分（東大和市シルバー人材センター補助金）

◎補助対象事業

・事業費

公益目的事業会計における事業費

・その他の経費

その他市長が必要と認める経費

◎令和 3 年度補助金確定額及び令和 4 年度交付決定額

【令和 3 年度確定額】 35,882,000 円

① 事業費 25,306,770 円

② その他の経費 10,575,230 円

【令和 4 年度交付決定額】 36,646,000 円

① 事業費 25,948,534 円

② その他の経費 10,697,466 円

9 監査結果

監査を実施した結果、補助金等に係る出納及び事務については、おおむね適正に執行されていると認められた。

なお、事務の執行等について、一部に改善、検討を要する事項が見受けられたので、以下に述べる。

〈福祉推進課〉

◎改善を求めるもの

① 補助金の補助対象について

シルバー人材センター補助金交付要綱第2条では、補助対象となる経費が、事業費、その他の経費と規定されている。

実際の充当先は、主にシルバー人材センター職員の人件費であるが、補助金交付要綱における記述内容が漠然としており、充当できる項目等が不透明な状態であった。補助項目等の具体的な記載、又は補完する要領等を作成するなど、補助対象を明確化するように改善に努められたい。

② 補助金交付決定時等における確認について

シルバー人材センターに対する、補助金の交付において内容の確認を適切に行うとともに、月次報告の内容を見直すなど事務処理を適切に実施し、効果的なものとなるよう担当課における確認体制や手法の改善などに努められたい。

〈シルバー人材センター〉

◎要望を求めるもの

① 高齢者の就業に関する相談及び希望に応じた就業機会の開拓・提供について

シルバー人材センターは、「社会参加の意欲ある健康な高齢者に対し、地域社会と連携を保ちながら、その希望、知識及び経験に応じた就業並びに社会奉仕等の活動機会を確保し、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する」ことを目的としている。

人生100年時代と言われるようになり、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現や現役時に培われた能力を生かした地域社会への貢献等の施策実現に向けて、シルバー人材センターの役割はますます重要になってきている。

当市のシルバー人材センターの会員数は、新型コロナウイルス感染症や企業等における定年延長の影響により、令和4年10月31日現在601名と減少傾向にあるとのことであった。

シルバー人材センターでは、会員募集について、ホームページへの掲載、チラシの配布や会員による口コミなどにより行っているとのことだったが、コロナ禍により手立てが少ない状況ではあるが、より一層積極的な働きかけを行うとともに、会員の希望する職種や業務を適確に把握し、就業率の向上につなげていただくよう要望する。

② 経理業務等について

職員の生活に重要な給与の支払いや簡易なミスが散見されたことから、経理業務における研修等を行うとともに組織内での確認体制の強化を図られるよう要望する。

令和3年度正味財産増減計算書内訳表（収支決算書）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

（単位：円）

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合計	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	232,639,196	3,425,696	236,064,892	
労働者派遣事業等受託収益	5,140,929	0	5,140,929	
受取会費	642,000	642,000	1,284,000	
受取補助金等	39,730,620	10,379,865	50,110,485	市補助金収入額： 35,271,485
特定資産運用益	216	211	427	
雑収益	91	0	91	
経常収益計	278,153,052	14,447,772	292,600,824	
(2) 経常費用				
事業費	277,598,753	0	277,598,753	市補助金充当額： 25,306,770
管理費	0	14,447,772	14,447,772	市補助金充当額： 10,575,230
経常費用計	277,598,753	14,447,772	292,046,525	
当期経常増減額	554,299	0	554,299	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	554,299	0	554,299	
当期一般正味財産増減額	554,299	0	554,299	
一般正味財産期首残高	36,601,620	5,034,853	41,636,473	
一般正味財産期末残高	37,155,919	5,034,853	42,190,772	
II 指定正味財産増減の部				
(1) 収益				
受取補助金等	415,150	195,365	610,515	市補助金収入額： 610,515
収益計	415,150	195,365	610,515	
(2) 費用				
一般正味財産への振替額	0	0	0	
費用計	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	415,150	195,365	610,515	
指定正味財産期首残高	4,470,821	1,864,360	6,335,181	
指定正味財産期末残高	4,885,971	2,059,725	6,945,696	
III 正味財産期末残高	42,041,890	7,094,578	49,136,468	

令和4年度正味財産増減計算書内訳書（収支予算書）

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

（単位：円）

	公益目的 事業会計	法人会計	合計	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	1,000	1,000	2,000	
受取会費	802,000	802,000	1,604,000	
事業収益	257,711,619	3,433,381	261,145,000	市補助金収入額： 36,646,000
労働者派遣事業等受託収益	5,610,000	0	5,610,000	
受取補助金等	40,787,534	10,697,466	51,485,000	
雑収益	15,500	15,500	31,000	
経常収益計	304,927,653	14,949,347	319,877,000	
(2) 経常費用				
事業費	304,927,653	0	304,927,653	市補助金充当額： 25,948,534
管理費	0	14,949,347	14,949,347	市補助金充当額： 10,697,466
経常費用計	304,927,653	14,949,347	319,877,000	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	39,712,049	5,034,853	44,746,902	
一般正味財産期末残高	39,712,049	5,034,853	44,746,902	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
収益計	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
費用計	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,853,467	1,572,504	5,425,971	
指定正味財産期末残高	3,853,467	1,572,504	5,425,971	
III 正味財産期末残高	43,565,516	6,607,357	50,172,873	